

めあて
ことわざや敬語の使い方を理解しよう。

一 「かっぱの川流れ」と同じ意味で使われることわざはどれでしょうか。最も適切なものをアからエの中から一つ選び選びましょう。
「かっぱの川流れ」の使い方
あの先生が、こんなミスをするなんて、かっぱの川流れというのは、ほんとうにあるもんだね。

- ア ねこに小判
- イ 帯に短し、たすきに長し
- ウ 犬も歩けばぼうに当たる
- エ さるも木から落ちる

二 「用心の上にも用心を重ねる」という意味で使う言葉はどれでしょうか。最も適切なものをアからエの中から一つ選び選びましょう。

- ア 石の上にも三年
- イ 急がば回れ
- ウ 石橋をたたいてわたる
- エ 馬の耳に念仏

三 次の波線部とほぼ同じ意味のことわざはどれでしょう。最も適切なものをアからエの中から一つ選び選びましょう。

彼に何度も注意したが、のれんにうでおした。

- ア どんぐりのせいくらべ
- イ ぬかにくぎ
- ウ たなからぼたもち
- エ 絵にかいたもち

四 次の文の（ ）に当てはまる敬語として、最も適切なものを次のアからエの中から一つ選び選びましょう。

父が先生のおたくに（ ）。

- ア 行く
- イ うかがう
- ウ いらっしゃる
- エ 行かれる

五 次の文の（ ）に当てはまる敬語として、最も適切なものを次のアからエの中から一つ選び選びましょう。

ぼくは、校長先生からひまわりの種を（ ）。

- ア もらった
- イ くださった
- ウ いただいた
- エ もらわれた

振り返り	四	一
		二
		三
	五	